

北菌さん「自分の人生だから自分で決める！」



「目の前のことに全力」でと力強い言葉

パラ柔道北菌新光さんの講演会、Zoomで拝聴しました。

吾孺二中 ニュースレター

墨田区立吾孺第二中学校

令和3年7月1日
校長 駒田 るみ子

・・・6月26日土曜日実施・・・

第1回学校運営連絡協議会

感染予防を徹底した上で開催させていただきました。「コロナ禍の中、心の教育に力を入れる」という学校の方針にご賛同をいただきました。

「感染要望をとり、地域との合同の取組も入れていきたい」等のご意見もいただきました。

いつも本校生徒たちを温かく見守っていただきありがとうございます。

・・・6月26日土曜日実施・・・

道徳授業地区公開講座

残念ながら保護者の皆様にご授業を公開することができませんでしたが、道徳授業で「勤労観」に関する題材を選び授業研究を実施しました。働くことを考えると、私達の暮らしや社会問題、科学技術のことや未来への展望、環境問題、ジェンダーなどをはじめとする人権問題等、実に様々な現代社会の課題が浮き彫りになってきました。それらを考えた上で、進路選択をしたり、自分の夢の実現に向かったりするのは容易ではないなとも思いました。

写真 5組の野菜や花



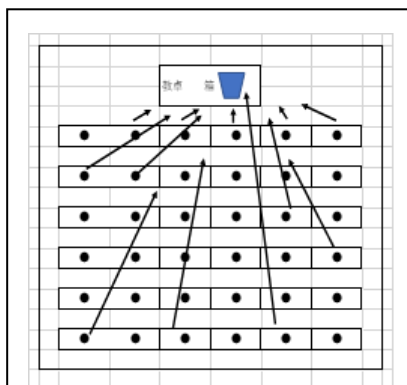
「あたりまえ」という「特権」に気付くこと

校長 駒田 るみ子

「特権」と聞いてどんなことを連想しますか。もしくはあなたは特権をもっていますかと問われたらなんと答えますか。

人種による差別を受けている人、障害があることで差別を受けた経験のある人、性による差別を感じたことがある人、コロナに関する差別を受けたという人、いろんな方がいます。そしてその反対側には、それに該当しない人がいます。ほとんどの人は、様々な障害がないことを「あたりまえ」だと思っています。今日食事ができることもあたりまえ。学校に通い教育を受けることや、バスや電車で自由に乘れることも。しかし、これらのことができない人々からすると、それは「特権」だという見方もできます。

左の図でいうと、たまたま前に座っていた人は座席の位置という特権を持っているのです。座席が後ろの人からすれば



ある教室で、先生が教卓の所にある箱に、「紙に名前を書いて丸めたものを投げ入れなさい」と指示しました。学生達は一生懸命入れようとしています。

しかし、当然のことながら後ろの席の学生からは「先生、距離が違うから不公平です」と声が上がります。後ろの学生は全く参加しない生徒もいたそうです。一方最前列の学生は、一生懸命入れようとした、という声もありました。皆さんはこのことから、どんなことを考えますか。(上智大学出口真紀子教授による人権講話より抜粋)

「差別だ、不公平だ」という声は当然です。ではこんな時に、「特権」をもっている人はどういう声を上げるのでしょうか。「前だから外さないようにと頑張って投げます」でよいのでしょうか。

「吾孺二中の生徒達は、前に座っていてもこの状況の不公平さに気付き、声を上げることができる生徒であってほしい」と思います。そのためには「不平等を自分ごととして捉える視点」が大事なのです。どうぞご家族で考えてみてください。

AWARD-WINNING

| | | | |
|-----------|----------|------|-----------|
| バスケットボール部 | 夏季総合体育大会 | 準優勝 | |
| | | | ベストプレイヤー賞 |
| サッカー部 | 夏季総合体育大会 | 第三位 | |
| バドミントン部 | 夏季総合体育大会 | 男子団体 | 第三位 |
| | 夏季総合体育大会 | 女子団体 | 優勝 |
| | 女子シングルス | | 準優勝 |
| | 女子ダブルス | | 第三位 |
| | | | 準優勝 |



○交通安全教室

吾嬭二中のホームページです。ご活用ください。

6月7日(月)向島警察署の方と交通安全員の方をお招きして、各学年交通安全教室を開きました。自転車の安全な乗り方を中心に、実際に起きた事故を例にして、事故が起きた状況や事故後の様子を詳しく説明していただき、注意して自転車に乗る必要性を改めて感じました。最後にシミュレーターを使用して、実際に自転車を運転しているかのような場面を体験できて、とても充実した交通安全教室となりました。

○人権尊重教育の推進

6月23日(水)、校内研修の一環として、2年2組で大津先生による人権尊重研究授業が行われました。SDGsの課題が多様性であることへの理解を深め、身近な課題解決のために、意見を交換したりしながら、自分達のできることにについて発表することができました。



○人権・オリンピック・パラリンピック教育講演会



6月25日(金)、パラリンピック柔道81kg級日本代表の北園 新光氏によるリモートでの講演をしていただきました。夢に向かってあきらめず努力すること、今日の前にあることに全力で取り組むことの大切さを学ぶことができました。



○1年
STOP it
の授業

○3年道徳の
授業

